

残したい 伝えたい 学びたい 育てたい 安曇野の文化

安曇野市文書館がオープン！

公文書を次世代につなげるために

歴史的・文化的価値のある公文書や、古文書などの地域資料を収集、保存して、広く皆さまに活用いただくための施設です。

●重要文書を保存・公開

安

曇野市文書館は、市にとって重要な公文書や地域資料等を市民共有の財産として、適切に保存・公開するための施設です。

施設は、旧堀金公民館の建物を活用し、公文書約4万6000点を、地域資料約4万2000点を収蔵する書庫、視聴覚機器を備えた多目的室と講義室、閲覧コーナーを備えています。（開館時の閲覧可能資料は1万9374点）

開館までの経過としては、平成27年11月に「安曇野市新市立博物館構想」が策定され、文書館の必要性が明記されました。平成29年9月には、安曇野市文書館業務検討委員会が「安曇野市文書館開館

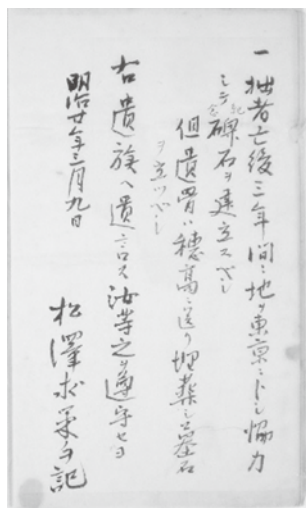
●各種講座や展示も企画

文

書館では、多くの皆さまに親しまれる施設を目指し、収蔵資料を活用した講座や市ゆかりの人物を紹介する展示などを企画しています。今後、広報紙などで各種イベントを紹介します。



資料検索用のパソコンを備えた閲覧コーナー



松澤求策の遺言。このほか歴史的に貴重な資料を収蔵



公文書約46,000点を収蔵する書架

開館時間・休館日等

●開館時間 9:00～17:00
(開館初日は10:30から)●休館日 土曜日・祝祭日
・年末年始(12/29～1/3)

●住所 堀金烏川2753-1(堀金支所東隣)

●閲覧方法
・開架の図書・雑誌類は館内でご覧ください。
・開架の資料等は、館内のパソコンで検索できます。
・閲覧コーナーでは、鉛筆および消しゴム以外の筆記用具の使用はできません。
・不透明な袋、飲食物、刃物などの持ち込みのないものがあります。詳しくは問い合わせください。
・資料の閲覧、写しの交付、カメラによる撮影は原則1回5点以内です。●問い合わせ
安曇野市文書館
(TEL)71・5123 (FAX)71・5127

●旧5町村誌も取り扱い

文

書館では近隣市町村の自治体誌が閲覧できます。また、『豊科町誌』など旧5町村で刊行した自治体誌は10月1日から価格を改定します。よりお求めやすくなりますので、詳しくは文書館へ問い合わせください。

講演会

事前申込
不要9月30日(日)13:00開演
会場／堀金公民館講堂(安曇野市文書館東隣)図書館とどう違うの？ 公文書って何？
文書館の魅力や活用方法が学べる講演です。演題 文書が映す安曇野の文化
～安曇野市文書館への期待～
講師 長野県短期大学准教授
瀬畑 源 さん
著書 『公文書をつかう 公文書管理
制度と歴史研究』(青弓社)等演題 人物顕彰と文書館
講師 松本市文書館特別専門員
小松 芳郎 さん
経歴 長野県史常任編集委員、
松本市史編さん室長

展示企画

観覧
無料

松澤求策と国会開設運動

明治時代、松本平の自由民権運動のリーダーとなり、政府に国会開設を請願した松澤求策。その活躍を文書館の資料と共にたどります。

10月1日(月)～12月28日(金)

会場／文書館閲覧コーナー

および安曇野市堀金支所2階交流ラウンジ

公文書は 市民の共有財産

市では、平成29年に「安曇野市自治基本条例」を制定し、市政運営の基本原則に「情報共有」を掲げました。

市や市民の皆さまの活動記録や歴史的な重要文書等に加え、地域に残る資料を収集、保存、公開することで、市民の皆さまの参加と協働による住民自治を一層進めてまいります。

共有財産である公文書を次世代につなげるとともに、皆さまに気軽に利用いただける施設を目指します。ぜひご来館ください。

安曇野市長 宮澤 宗弘

